

# 令和3年度 学校自己評価システムシート

# ( 県立所沢高等学校定時制 )

目指す学校像	多様な生徒一人一人に相応し、社会的自立を促す親身あふれる温かい教育
--------	-----------------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を大切にし、学習意欲を向上させ、基礎学力を定着させる</li> <li>2 家庭や地域との連携を強め、教育活動を一層充実させる</li> <li>3 学校行事等の多様な学びの機会を通じて、社会人として自立できる力を育成する</li> </ol>
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	5名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価			実施日 2月10日	
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策	
1	<p>現状 中学校までの学習につまずきがあり、基礎学力が定着していない生徒、日本語が理解できない生徒、学年相応の学力のある生徒など多様な生徒が在籍している。</p> <p>課題: 基礎学力を定着させるとともに、わかる喜びを体験させて学習意欲を高める必要がある。</p>	わかる授業、主体的に参加する授業や補習等の実施による基礎学力の定着	<ol style="list-style-type: none"> <li>①生徒一人一人の学力や理解度を把握し、個に応じたきめ細かな指導を行う。</li> <li>②教材の工夫によって生徒の興味・関心を高め、見通しを持って学習に取り組ませる。</li> <li>③教員と外部指導者の連携により、日本語の指導が必要な生徒や学力の低い生徒の学力向上に取り組む。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①② 生徒の授業満足度</li> <li>①②③ 各学期末の欠点保有者数</li> <li>②③ 授業時以外の学習時間</li> <li>③ 外部指導者の活用状況</li> </ol>	<p>○生徒アンケートの結果より、「分かりやすい授業実施」「授業は落ち着いた雰囲気」の問いにそれぞれ86%、88%が「そう思う」と回答。しかし、「授業に意欲的に取り組んでいる」「家庭学習を日常的に実施」の問いに「そう思う」という回答はそれぞれ52%、27%しかなかった。</p> <p>○1、2学期続けて欠点を保有した生徒は第1学年2名、第2学年及び第3学年1名、第4学年は0名であった。</p> <p>○多文化共生推進員は200h、学習サポーターは100h活用し、日本語指導が必要な生徒の支援に取り組んでもらっている。(1/19現在)</p>	B	<p>保護者アンケートでも学校授業に対しては生徒同様高い評価が得られているものの、意欲的に学習に取り組んだり、日常的に家庭学習を行ったりする生徒が少ない。</p> <p>次年度は、生徒に意欲的に授業や家庭学習に取り組ませることを課題とし、目標を持って学習に取り組ませるとともに達成感を味わわせていくことが求められる。</p>	<p>学校関係者からの意見 ・要望・評価等</p> <p>○生活環境が異なる生徒や学力差のある生徒の指導は大変。それをきめ細かく指導している。今後も、生徒個々の環境や学力に合わせ、目標を持たせて達成感を味わわせ、学力を向上させる楽しく分かりやすい授業を期待する。</p> <p>○通学、対面だからこそ取得できることは多い。</p> <p>○生徒のニーズに合わせて「興味のある」「就職に関する」科目を取り入れてみては。</p>
2	<p>現状 新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら教育活動を展開できているものの、保護者との連携が難しい状況にある。また、定時制の特色が中学生に伝わっていない。</p> <p>課題: 保護者や中学校への情報発信を工夫し、本校定時制への理解を深める。</p>	保護者との連携体制の強化と中学生への情報発信	<ol style="list-style-type: none"> <li>①新型コロナウイルス感染症感染防止対策や教育活動の情報を積極的に保護者に発信するとともに、保護者の意見や要望を収集していく。</li> <li>②学校案内を一新するとともに本校で中学時代の生活改善が見られた生徒の情報も中学校へ発信する。</li> <li>③HPは写真掲載を増やし、視覚に訴える記事の掲載を増やす。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①保護者の学校理解度と満足度</li> <li>②学校案内配布数と中学校への情報発信回数</li> <li>③写真掲載のHP更新回数と閲覧者数</li> </ol>	<p>○保護者アンケートの結果より「本校に入学させて良かった」という問いに88%が「そう思う」と回答。生徒アンケートでも同様の結果だった。また、約7割の保護者が子どもと学校生活について日常的に会話している、学校からの配布物を受け取っていると回答しているが、ホームページを定期的に閲覧している保護者は半数に満たなかった。</p> <p>○学校案内は生徒の声を載せて作成し、市内と近隣2市の中学校に配布。しかし、新型コロナウイルス感染拡大のため、中学校訪問は実施できなかった。</p> <p>○HPは50回更新、内33回は写真を掲載して生徒の活動の様子を発信した。(1/19現在)</p>	A	<p>生徒も保護者も学校に対する満足度は高い。また、修学旅行では現地で撮影した写真をすぐにHPに掲載したり、学校行事の様子は実施直後にHPに掲載したりするなど、積極的に情報発信を行った。しかし、それを閲覧している保護者や中学生が少なく、学校の魅力を十分に情報発信できていないことが課題である。</p> <p>次年度はこのような情報を学校案内にも掲載するとともにHPをより多くの保護者、中学生に閲覧してもらえるよう工夫していくことが求められる。</p>	<p>○生徒も保護者も学校に対する満足度は高いとある。評議員会でも保護者代表や教員の話から魅力的であり、アットホームでその中にも学びがあり、好感が持てる。このことが多くの人に伝わると良い。</p> <p>○ホームページは写真をもう少し多くして生徒が分かるようにすると保護者側も楽しみがある。また、生徒の声を伝えると良い。</p>
3	<p>現状 面倒見の良い教員の指導や外部指導者の活用によって、成長している生徒が多い。</p> <p>課題: 生徒に主体的な活動の場を提供して自己肯定感を高めるとともに、自ら考えて行動できる人間に成長させる。</p>	自立した人物へと成長させるため、自己管理能力を高める。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①全教職員で生徒情報を共有し、生徒理解を深めた生徒指導を行う。</li> <li>②高校生自立支援事業やスクールカウンセラーを活用するとともに、外部機関と連携し、生徒の自立意識を高める。</li> <li>③ガイダンス機能の強化や就職支援アドバイザーの活用により、卒業後の進路に見通しを持って、学校生活を送らせる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①②③ 生徒の自己肯定感と進路意識の向上度合</li> <li>①②③ 欠席、遅刻、早退日数</li> <li>①② 中途退学者数</li> <li>③ 卒業生の進路決定状況</li> </ol>	<p>○生徒アンケートの結果より、「生徒の悩みに適切に対応」は84%、「今の自分に満足」は55%、「卒業後の目標を持っている」は44%、「社会的マナーや交通ルールを遵守」は82%が「そう思う」と回答。</p> <p>○2学期末まで出席状況が良好でない生徒が第1学年5名、第2学年10名、第3学年及び第4学年6名と少なからず在籍。また第1学年で3名が進路変更のため退学。</p> <p>○卒業予定者18名のうち、進学決定者5名、同予定者3名、就職決定者7名、同予定者3名。</p>	B	<p>学校は生徒の心身の悩みに適切に対応できていると捉えられており、社会規範を守っている生徒も多い。しかし、自己肯定感が高い生徒や将来の目標を持っている生徒は半数程度に留まっている。</p> <p>次年度は生徒の自己肯定感を高めるとともに、卒業後の目標を持たせて学校にしっかり登校させることが課題である。そのために、授業や学校行事を含めてあらゆる機会にキャリア教育を推進していくことが求められる。</p>	<p>○自己肯定感を高めるために、心理士を招聘したり、色々な人と出会えたりすることで、会話を交わす環境をつくるのが大切。</p> <p>○少人数の教育ゆえ、一人一人に話しかけ、理解し合えることで生徒は成長していると感じる。年齢や家庭環境が異なり、多様な生徒がいると思うので心のケアや保護者との連携を大切にして欲しい。</p> <p>○ロータリークラブを活用して就職希望者に職場体験をさせてみては。</p>